



【人生の真の成功者】

聖書本文:ルカの福音書19章1-10節/暗唱聖句:マルコ12章29-31節

説教者:鄭南哲牧師

(Rev. Jung nam-chul)

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん! 一週間の間も元気で、守られましたでしょうか。今日は人生のまことの成功者について聖書の御言葉を通してともに考えたいと思います。人間であるなら、だれでも成功の人生になりたい、成功の人生を送りたいという野望や欲望があり、このためにみんな自分たちなりに一生懸命に努力しているでしょう。すると、まことの人生の成功者、まことに成功の人生とは何でしょうか。

1. あなたの人生の成功の基準とは?

多くの人々は成功を金、権力、名誉、学歴、職場、出世、広い家やブランドのものや高級車などだと思っています。しかし、自分は成功したと願っていても、実際にはそうでない人々が多くあります。

アメリカ人を対象に‘個人的成功の基準’をリサーチした結果一番多かった答えは何だと思いませんか。

1位が健康、2位は楽しく働ける職業、3位は幸福な家庭、4位は良い教育、5位は心の平安、6位は良い友達順でした。

みなさん! はたしてこれらはまことの成功の基準となれるのでしょうか。学歴が成功の全部ではありません。勉強ができるという成功したのではありません。世界的物理学者だったアインシュタイン(Albert Einstein)もチューリヒ工科大学に落ちた経験もありました。世界的企業家であるカーネギー(Andrew Carnegie)、イギリスが生んだ世界的な俳優であるチャールズチェプリン(Charles Spencer Chaplin)、世界的小説家であるディキンズ(Charles John Huffam Dickens)やマークトウェイン(Mark Twain)、画家モーネ(Claude Monet)、劇作家ショーンオクケーシーなどは小学校さえも出ませんでした。自動車の王と呼ばれているヘンリーフォード、作曲家ジョージゴースウィン、小説家ジャークロンドン、映画の俳優スティーブマクウィン、画家モディリアニ、世界最初の飛行士ライト兄弟などは、みんな中学校中退者たちだったそうです。つまり、人生の成敗はある試験の合格の可否とは関係なく、人間の幸福は大学卒業の修了証や華麗な活躍でもありません。人生の成敗と幸福とはどんな価値観をもっているかによります。

2. 人生の成功のため、必死であった収税人長ザアカイ

今日聖書本文ではみなさんにもよく知られているザアカイという人出ています。ザアカイの話は、聖書でルカの福音書だけ記されています。特に、イエス様の最後の頃、エルサレムに上って行かれる道中、失われたいたこのザアカイを捜し、救う為に、わざわざこのエリコの町に入って下っていました。

ザアカイの名前は、ギリシャ語で、「ザツカイオス(Zakχαῖος)」と呼ばれ、名前の意味は、「純潔な者(precious)、純粹な者」という意味の名前でした!

ザアカイはエリコという町の収税人のかしら(ぜいむちょう)だと呼ばれました。当時エリコは有名な香料(こうりょう)の生産地だったので、税金による収入がどんな地域よりも多く出た地域でした。そういうわけで、当然 税務長だったザアカイは財力も、名誉も十分に持っていた町では有力な人物として、周りから見れば、成功した人生の人のように見えたが、実は、ザアカイはそんなに幸せそうではありませんでした。実はその当時社会制度上、収税人(しゅうぜいにん)という仕事はローマの支配の中お金と権力を手に入れられる出世の近道の職業でしたが、みんなからあこがれの仕事ではありませんでした。なぜなら、当時人々にとって収税人を売国奴(ばいこくど)か、ただけしい毒蛇(どくへび)のように存在として扱われたからです。当時収税人についてはやっていたことわざがありました。

“山には獅子がいるし、荒野には毒蛇がいる。町内には収税人がいるのだ。”と言われるほど、イスラエルの民からは嫌われ、批判されていた立場の人です。

当時収税人たちはローマの指示を受けて同族のイスラエルの民たちに税金以上の過度なお金を容赦(ようしゃ)なく奪い取り、ローマにささげながら、残りを着服(ちゃくふく)して、金を儲けた人たちだったからです。

ですから、収税人たちは暴虐(ぼうぎゃく)な存在として、振舞わなければなりません。収税人らはお金を儲ければもうけるほど、恨みを抱いた人々からの悲鳴も高く上がっていったはず。そんな収税人たちの中でも特に、エリコという収入が多い大きな町の中で、ザアカイはかしら(収税人長)だったので、どれほど人々は彼を憎み、恨んでいたのか十分分かって来ます。しかし、彼にはそんな周りのことは気にせず、回りがどう思っても、どうなっても自分とは関係ないと思い込んで、ひたすら自分の人生の成功だけを目指して必死に働いて来た者だったと思われる。それで多くのお金、りっぱな家、収税人のかしらという社会的な地位など望んでいた物をすべて手にいれたザアカイでした。

ザアカイには、どうしてそこまで、必死にお金を儲けたかったのか、社会的な高い地位と早く出世したかったのかよく分かりません。過去とても貧しくて、大変な思いをしたかも知れませんが、今日の本文で、いろんな理由の中明確

な一つは、彼は、身体的なコンプレックスを持っていた事が分かります。何でしたか。みなさん！そうです。彼は背が普通の人よりかなり低かったようです！それで、‘背低いザアカイ’だとよく言われたほどだったようです。みなさんには、身体のコンプレックスって持っていますか。多分このザアカイは自分の背が他の人よりも全然低かったため、自分の中では多くのストレスと傷を抱いていたかも知れません。それで、ザアカイは他の人々と自分を比較しながら、自分の身体だけを見て、自分を無視したり、自分を低くさせる人々を憎み、その憎みが憎悪(ぞうお)に変わり、人々に仕返ししたいという気持ちで一杯だったかも知れません。

それで「純潔・純粹」という意味の名前を持っていたザアカイでしたが、自分の名前通りに生きるのをやめて、町の人々に対し、‘そうや、人々に仕返してできることはただ、財力を持つことしかない、彼らよりもっと出世して高い立場と名誉を持てれば、成功した人生になり、きっと幸せになるだろう！’と考えたと思います。そんな彼にはどんな仕事をするかより、ただお金をもっとたくさん儲けることが、人生に一番価値あることで、大切ですから、どんな仕事をしてかまわない気だったと思います。

それで彼は結局、人々を苦しめながら、お金を儲けることもできる収税人となり、血も涙も関係なく、だれよりも熱心に人々から無理やりにお金を奪い取った結果、ついに彼はこのエリコの町で、収税人のかしらまでに上がり、金持ちにまでなったわけです。自分が目標した通り、目指した通りに必死に金も、名誉も、出世も手にいれ成功した人生、もう自分は幸せな人生になったと思いきんでいたでしょう。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！みなさんも言わないけど、自分なりの変えないコンプレックスや劣等感などを持って生きているかも知れません。ある人は言えないし、見せないけれどもそれぞれ傷や悩みもあります。そして、ザアカイのように、人は自分なりに人生の成功という基準を作っておいて、そうなるため必死に目指して生きています。みなさんは、人生の中、何が一番大切だと思っているのでしょうか。ご自身や子供たちに何を大切にさせ、頑張るよう目指すようにさせているのでしょうか。

私たちの中でも今日のこのザアカイさんのような考え方や生き方を持っていらっしゃる方はいませんか。実際大体この世の人々はザアカイのような考え方や価値観を持って生きるのが当たり前かも知れません。そもそも現実的にそれが成功した人生で、幸せになれる道だと思いきんで人も多いのではありませんか。

しかし、今日の御言葉には直接書いてないですが、一つ推測できることがあります。ザアカイは収税人長になり、続けてお金が積み重なって行けば行くほど、彼の心はますます空しくなり、いつの間にか自分の周りには自分のための人はあまりいないような孤独感や疎外感に襲われていたようです。彼は人の成功、幸せ基準は、金や人々からの得られる名誉にあり、自分の所有している物質を多く持っているか、少なくあるか次第しか知らなかったのではないでしょうか。ザアカイは願ったほどのお金、権力は手にいれましたが、その後、人生の耐え難い空しさといひ孤独におわれていました。

3. 人生の真の成功: 救い主イエスキリストとの出会いから始まる

相対性(そうたいせい)原理を創案(そうあん)したユダヤ人であり、世界的な物理学者であったアインシュタイン(Albert Einstein)はこのような言葉を残しました。「成功しようとする人になろうとしないで、価値ある人になれ」と。エリック・フロムという有名な心理学者は人の人生を二つの種類に分けました。「所有なのか、存在なのか」。

今日この世に住んでいる多くの人々は大体所有のために、あるいは今自分が所有している物で、生きる目的や人の価値を、生きがいを覚えている場合が多いという意味です。様々なブランド名品やお金、立派な家や欲しがる物を所有するために、朝から晩まで必死に働いている人が多くいます。反面、比較的少数の人たちですが、自分はどんな存在なのか、この一度しかない人生の間、どんな存在として生きるべきなのか、真剣に悩み、もっと価値ある人生として行きようとする人もいると彼は指摘しています。とても鋭い指摘じゃありませんか。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！まことの人生の成功は自分がこの世に生まれ、生かされている存在の目的を悟り、その目的通り生きるのではないのでしょうか。ですから、一体誰のために、何のために、生かされていて、生きるべきなのか、人生の真の意味と目的を見出すことが人生の真の成功者になれる道ではないのでしょうか。我らの人生はいったいどこから来て、どちらに向って行くのか、そして、この人生が終わったら、その後はどうなるのかについてまず、知らなければなりません。聖書のローマ人への手紙11章36節の御言葉にはこう書いてあります。「すべてのものが神から発し、神によって成り、神に至るのです。この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。」

イエス様は我々の創造主なる神様であられ、我らの罪を赦され、救うことがおできになる神様です。収税人長であったザアカイはたとえお金がたくさんあり、豪華(ごうか)な家に住んでいたとしても、彼の心には人生の真の満足がありませんでした。却ってただ必死に生きて来た結果、彼の心には人生の空しさ、罪責感と罪意識に満たされていたからでした。

そんな空しい日々をすごしていた収税人長ザアカイにイエス様が、今日エリコの町を通り過ぎるようになるというわさが伝わって来ました。ザアカイは一度もイエス様と出会ったことはありませんでしたが、今までイエス様についてだれより関心を持って聞いて来たようなので、もっと詳しくは知らなくても、大体イエス様が成されたことを通して、どんな方なのかは知っていたはず。イエス様がどれほど愛の深い方であるか、どんな罪人たちにもと貧しい人たちにも、疎外された人々にも、助けが必要な人々にも友となって下さる素晴らしい神から遣わされた方であり、人の罪を赦し、人生を癒し、回復させて下さる霊的な権威と力を持っておられるお方であることを知っていたはず。そのイエス様をザアカイはいつかから切に会いたがって、一度出会える時を切に待ち望んでいたでしょう。

そして、ついに彼は自分のすべてのやっていることをうっちゃらかして、エリコの町の中に出て行きました。イエス様と出会うために、**回りの目は気にせず、急ぎあちこち走り出しました(4節)**。イスラエルの社会はいくら忙しくても大人が急いで走ったりするような文化ではなかったことを覚えると、どれほど、イエス様に切実に会いたがっていたのか、懇切な彼の心境であったことが十分伝わって来ます。

ところが、町にはもうすでに大勢の群衆で一杯になり、ザアカイはとても背が低かったので、到底イエス様の顔すら見ることができませんでした(3節)。しかし、彼はあきらめませんでした。どうすればイエス様と出会えるのかだけひたすら願い、考えていました。もしかして、今日今のこのチャンスを見逃してイエス様と今回会えないと、もう明日の自分はどうなってしまうのか不吉(ふきつ)な予感を感じたかも知れません。

その時、高いところだとイエス様が見られるのではないかと、周囲を見て見たら、ちょうど近くにわると高いいちじく桑の木が見えました。**4節**で、彼は壽著せず、走り出し、急いでそのいちじく桑の木に登りはじめました。容易くは登られなかったかも知れません。急いで登ろうとするため、何度も滑られたかも知れません。回りの人々が自分をどういうふうに見ても、あざ笑っている声が聞こえても、社会的な自分の体面やプライドさえも今は関係ありませんでした。それでザアカイはやっと、いちじく桑の木に登られました。ついに離れて遠くに会いたかったイエス様の姿が目に入ります。

ところが、感激しながら、ずっと合いたかったイエス姿を遠くでも見つめ続けていたザアカイの方向に、イエス様は通りすぎようとしながら、そのいちじく桑の木の近くで足を止めました。そして、上を見上げて、ザアカイに向かってこう語られました(5節)。“ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日はあなたの家に泊まることにしてあるから。”

今日の御言葉で、そんなザアカイに対して、イエス様は足を止めて、彼が登っているところに「**上を見上げた(5節)**」と書かれています。神の御子イエスキリストが、**彼のために、見上げて下さっているのです!** 神が人のために、見上げて下さったという表現は、聖書ここで初めて書かれています! 今までずっと人間が神を見上げつつけて来たのではないのでしょうか。しかし、今日は、**救い主を切に捜し求めた者に、神の御子をも見上げて下さっているのです!!**

それとも、ザアカイのようなこんな罪人の一人のためにですね!!

だれより、イエス様を切に待ち望んでいたザアカイの心の叫びと願いをすでに知っておられ、聞いておられたと信じます。神様は自分を切に捜し求める者たちと出会わせてくださると約束された通りにそのようになされました。

箴言8章17節「わたしを愛する者を、わたしは愛する。わたしを熱心に捜す者は、わたしを見出す。」

ザアカイはお金を今まで人生の真の神かのように拝みながら、多くの人々にたくさんの罪を犯した者でしたが、今日の本文で、**イエス様の前で彼がとてもよかったことは、だから切にイエス様を捜し求め、待ち望んでいたことでした!** そして、多くの群衆と人々のため、妨げられていても、目の前に邪魔することがあっても、それでイエス様と会えなかった時でさえも、諦めて家に帰らず、遠いところからでもイエス様を見つめ続けていたことでもあります! 自分の背が低いコンプレックスや劣等感があっても、そこで諦めず、乗り越えて高いいちじく桑の木に登ってもイエス様と会おうとしていた切ない心と姿勢ではありませんか。

今日の礼拝に来られ、共に集っている愛するクリスチャンプレイズチャーチ信仰の家族のみなさん! みなさんは今どんな心構えでここに集まり、座っていらっしゃいますか。ザアカイのように、主に向かってこのような飢え渴きの切なる心、慕い求める心を持っているのでしょうか。今日も礼拝を通して、父なる神に、御子イエスキリストに、聖霊の神に出会い、心から罪赦され、癒やされ、回復されたいと切に願い求めつつ、主の臨在を待ち望んでいらっしゃるのでしょうか。

毎週、教会の礼拝に来ようとする時、神に近づけないような何か妨げや邪魔する要素があった時、みなさんはすぐ、神に近づくことを諦めたりしたことはなかったでしょうか。

ザアカイの良かった点は、今日! 今! イエスキリストと出会わないと、後自分の人生の中で会える機会が許されないかも知れないと思ったことではないでしょうか。**今度! 次!** ではなく、今イエスキリストが私のすべての罪を赦して下される赦されるように、今イエスキリストの愛と憐れみを頂かないといけないかのような姿勢だったことです。

救いの神、まことの神と会えないと、もう明日はどうなるかわからないかのような飢え渴いた切なる心でひたすら、イエスキリストと出会えることを求めていたので、イエス様はそんな彼に出会わせて下さったのです。

4. 眞の人生の成功と幸福: イエスキリストの迎え入れ、眞の悔い改め(人生の変化)と救いによる

5節に、イエス様はザアカイを見上げて、「**ザアカイ。急いで降りて来なさい。わたしは今日、あなたの家に泊まることにしてあるから。**」と言われる主のお言葉にあまりにも嬉しかったのか、6節によると、「**急いで降りて来て、喜んでイエスを迎えた。**」と書いてあります。

今ここでしばらくではなく、特別に、自分のために、罪人である自分の家にまで来て、共に交わって下さることに、あまりにも嬉しかったゆえ、イエス様が言われた通りにイチジク桑の木の上から急いで、飛び降りて来てイエス様を自分の家に迎え入れました。7節に、周りの多くの人々は、イエス様に対して「**あの人は罪人のところに行って客となった。**」と言われても、イエス様はまったく気にせず、喜んでザアカイと彼の家族とその集まっている人々と交わって下さいました！

イエス様を迎え入れ、受け入れて、交わっているうちに、今までも経験出来なかった平安がおとずれました。今までたまっていたストレス、疎外感、孤独感など大きな重荷が下ろされた気がし、まことの喜びが満ち溢れます。そして、ザアカイはイエス様の御前で、正直に、そして徹底的に悔い改め、今までの生き方から離れ、生まれ変わったかのように新たな人生と生き方の方への選択と決心をします！

本文8節によると、ザアカイはイエス様に、こう悔い改めつつ、告白しました。「**主よ、ご覧ください。私は財産の半分を貧しい人たちに施します。だれかから脅し取った物があれば、四倍にして返します。**」

当時律法によりと、自発的に弁償をしようとする者は不法的に得た金額の1/5を返すべきだという記録があります。(レビ記6:5,民数記5:7,出エジプト22:1,第二サムエル12:6)。しかし、ザアカイはイエス様に会ってから、二度も以前のような生き方から、完全に離れることを決めて、徹底的に悔い改めました。自分だけの悔い改めではなく、自分が損害を与えた人や間違って傷つけてしまったすべての人たちに、社会的な常識以上の心からの謝罪と具体的な償いと弁償をすることを実行しようとしたわけです。すると、9節に、イエス様は「**きょう、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子なのですから。**」と心から救い主を迎え入れ、心から悔い改めたザアカイに、彼の信仰が間違いなく、神の救いがこの家の全ての者に訪れたことを宣言し、祝福して下さいました！

イエス様はザアカイに対して、ほかの人たちのように悪者とか、差別しながら罪人扱いをされませんでした。非難せず、悔い改めなさいと強制的に命じられたわけでもありません。イエス様はただ彼の家に入られて彼を愛し、あわれみを持って交わって下さいました。ザアカイは、自らイエスキリストを受け入れ、悔い改め、罪赦されました。ついに曲がってしまって来た自分の人生と生き方をキリストイエスによって、回復されようになっただのではないのでしょうか。

みなさん!なぜ我々の心にはイエスキリストによるまことの平安と喜びがあるのでしょうか。我々もみな神の御前ではザアカイのような同じ罪人ではないのでしょうか。我にもイエスキリストが必要ではありませんか。

いつも、みなさんもイエスキリストをみなさんの人生の中に、家族の中に、家に迎え入れているのでしょうか。

実際、日々、すでに受け入れ、ともにおられるイエスキリストとともに交わっているのでしょうか。

そうしていらっしゃるなら、きっとみなさんの人生は益々新しく変わって行き、悔い改めを大切に保ち、罪赦される感謝と感激が溢れるはずですよ。そして、周りの人々との関係の中でも、罪があるか、自分を深く探り、あれば周りの人々にまで心から償おうとするため、周りの人々との関係も必ず回復されるようになります！

「**義人はいない。ひとりもない。**」(ローマ人への手紙3:10)と聖書には明確に教えて下さっています。

そういうわけで、神は人生のすべての罪の問題を解決するため、直接神の御子イエスキリストをこの地に遣わし、来られたのです。神の御子イエスキリストは、旅人のようにさ迷っている我々の人生を神の国に入らせるためにこの地に来られました。そして我々のすべての罪を赦すために、我々の代わりにすべての罪の代価を支払うために、十字架にかかって死んで下さいました。そして、預言の通り三日目によみがえられました。

ですから自分の人生の救い主として、神の御子イエスを心から迎え入れ、信じて、悔い改めるすべての人生に対して、ザアカイのように、イエスキリストは、今まで自分の罪の問題が赦し、解決して下さるだけでなく、永遠の命を与え、神の御国に入らせ、永遠に生きることが許されます。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！イエス様を信じればすべての罪は赦され、救われ、御国に入る事ができます。聖書はこう約束しています。

「**見よ、わたしは戸の外に立ってたたいている。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしはその人のところに入って彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をします。**」(ヨハネの黙示録3:20)

「**主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。**」(使徒の働き16:31)」

「**神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。**」(ヨハネの福音書3:16)」

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！

人生のまことの成功、人生の幸せを望むみなさんはイエスキリストを真に迎え入れ、受け入れて信じていますか。そして、すべてを知っておられるキリストの御前に常に悔い改めを徹底的にしているでしょうか。日々、今もなお生きておられ、我らとともにおられるイエスキリストと日々交わって歩んでいるでしょうか。みなさんはイエスキリストを受け入れ、交わっていないながら、今までどう人生が、生き方が、価値観が、行いが変わって来ているのでしょうか。

<まとめ>

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！ 今日聖書で人生のすべてを持っていたザアカイも世では自分の願いを全部手に入れていましたが、実はまったく人生の成功者より、不幸者幸でした。一生彼を苦しめたコンプレックス、罪責感、孤独感、疎外感、空虚感(くうきょうかん)に満ちていた彼が、イエス様に出会うことにより今までひたすら大切にしていた自分の価値観と生き方が変わり、新しい人生を踏み出すことが出来ました。そのように我々も含め、まわりの人々がこのキリストにある回復の道、救いの道を選び取り、共に歩めるように、イエス様がなされたように我らも罪人の友となって上げようではありませんか。

まことの人生の成功とは、我々を作り、救い出して下さったイエスキリストと出会い、日々交わることから始まります。 イエスキリストによって、今生かされている自分の本来の目的を正しく知り、今までの価値観と生き方を変えることから始まります。まことの人生の成功とは、日々、神との愛の関係と交わりを回復し、保つことにより、隣のすべての人々とも愛の関係で回復され、保つことが出来るようになることです。

そして、人生のまことの成功は、自分だけではなく、周りの隣人たちも成功させる人生です！

イエス様がザアカイの人生を変えさせ、回復させて、用いて下さったように、また、ザアカイが他の隣人に償いをし、彼らとの関係を回復させ、彼らを建て上げようとしたように、自分だけが成功し、幸せになろうとするのではなく、自分と関わっている周りの全ての人々との関係を愛で支え、ともに人生のまことの成功者となるように、助け、支え、建て上げる人生だと信じます。

今日イエス様を自分の人生と家に迎え入れ、神の御国(天国)を味わったザアカイとその家族への神の救いと祝福が今日クリスチャンプレイズチャーチの全信仰の家族と家庭の上に、そして我々を通して多くの人々の上にも等しく臨まれますように主の御名によって祝福します。アーメン！